

「愛知県食育推進計画」(案)の概要について

愛知県食育推進計画（案）の概要

はじめに（P1）
食育を総合的かつ計画的に進めるために食育推進計画を作成

愛称案	「いただきます」あいち食育プラン あいち食育いきいきプラン 未来へ育む愛知の食育プラン 等	スローガン案	頭で食べる 心で食べる みんなで食べる いのち育め あいちの恵み わたしたちの食 わたしたちの未来 等
-----	---	--------	---

計画作成の基本的な考え方（P2～4）

- 1 計画の位置付け 県民が食育に主体的に取り組むための指針となるもの
愛知県における食育に関する取組の基本となるもの
- 2 計画期間 平成19年度から22年度
- 3 計画の推進 愛知県食育推進会議が中心になって、市町村、関係団体、企業等の取組を促しながら継続的な県民運動として推進

独自の数値目標を設定

食をめぐる現状と課題（P5～13）	
現 状	課 題
（体の視点） 食生活の乱れ 肥満者の増加 軟らかい物を食べる傾向 食に対する不安感の増大	バランスのとれた規則正しい食生活の実践 よく噛む食習慣の形成 食品表示や食の安全についての理解
（心の視点） 孤食や個食の増加 食の生産と消費との距離の拡大 伝統料理等の食文化の消失	家族や友人との楽しい食事の実践 食に関する様々な体験 食文化の継承
（環境の視点） 食べ残しや食品廃棄が増加傾向 食料輸入が増加し、輸送に伴う環境負荷の増大	食べ物の無駄の削減 地産地消の推進 食料生産における環境への配慮

あいちの目指す食育（P14～25）	
方 向	目 標
<p>食を通じて健康な体をつくります</p> <p>（背景） 「健康長寿あいち宣言」（H18.3） 歯の「8020運動」の発祥地（H1）</p>	<p>朝食の欠食割合 小学生1.88% 0%、16～19歳5.4% 0% 等</p> <p>肥満者の割合 児童生徒2% 1.7%以下、20～60歳代男性24.2% 15%以下 等</p> <p>自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の割合 男性59.7%、女性64.1% 80%以上</p> <p>80歳で20本以上自分の歯を持つ人の割合 20% 32%以上</p>
<p>食を通じて豊かな心を育みます</p> <p>（背景） 豊かな食文化、盛んな農業・食品製造業 公立小中学校の完全給食実施率100%</p>	<p>1日1食以上、家族や友人と2人以上で食事をする人の割合 62.3% 80%以上</p> <p>学校給食で地場産物を使用する割合 22.5% 30%以上</p> <p>農林漁業体験学習実施市町村の割合 36.9% 60%以上</p>
<p>食を通じて環境に優しい暮らしを築きます</p> <p>（背景） 「環境先進県」を目指す愛知県 愛知万博による県民の環境意識の高まり</p>	<p>無駄や廃棄の少ない食事作りに積極的な人の割合 35.5% 50%以上</p> <p>本県農林水産物を積極的に扱う店舗の登録数 336店 500店以上</p> <p>環境に配慮して生産活動を行う農業者（エコファーマー）の認定者数 2,200人 3,500人以上</p>
食育を広めるために	<p>食育に関心を持っている県民の割合 64.8% 90%以上</p> <p>食育推進ボランティアの登録数 388人 500人以上</p> <p>計画作成市町村の割合 0% 50%以上</p>

愛知の特色を背景とした食育の方向付け

世代別の取組を明示

県民の主体的な取組 (P 26 ~ 37)

朝食をとり、正しい食習慣を身に付けましょう

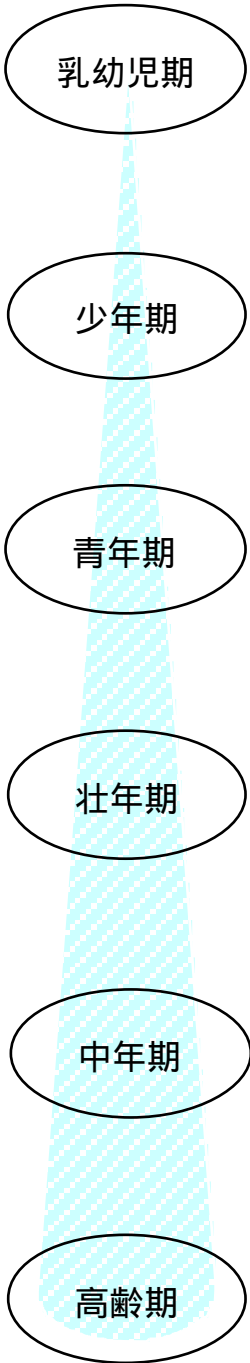
栄養のバランスに気を付け、食事の内容を調節しましょう

食中毒などを予防しましょう

食に関する正しい情報に基づいた食生活を送りましょう

歯を大切にしましょう

【世代別の取組】



「いただきます」、「ごちそうさま」を言いましょう

食事のマナーを身に付けましょう

家族や友人と一緒に食卓を囲みましょう

自分で料理をしてみましょう

五感を使って食事を楽しみましょう

食べ物の生産現場を見学・体験しましょう

食文化を継承しましょう

食べ残しが出ないようにしましょう

食品の廃棄を減らしましょう

身近でとれる食材を積極的に利用しましょう

unnecessary レジ袋や過剰な包装を使わないようにしましょう

食材・エネルギー・水を大切に使う料理しましょう

食品容器のリサイクルに参加・協力しましょう

家庭、学校等、地域に加えて、職場での取組を推進

県や関係団体等の取組 (P 38 ~ 53)

		主な働きかけの分野			
		家庭	学校等	職場	地域
食を通じて健康な体をつくるために	バランスのとれた食生活の推進	「食生活指針」や「食事バランスガイド」の普及促進	「妊産婦のための食生活指針」の普及推進	日本型食生活の良さの啓発	外食等における「ヘルシーメニュー」の提供推進
	生活習慣病等の予防対策	「早寝 早起き 朝ごはん」運動の普及啓発	P T A 活動による家庭への普及啓発	子どもの食生活についての指導の充実	給食を活用した食に関する指導の充実
	食品表示の適正化や食の安全に関する普及啓発	保育所における子育て家庭からの相談活動の実施	栄養教諭等による「家庭における食育」の普及啓発	子どもの肥満予防の推進	学校医、学校歯科医、学校薬剤師による学校保健の充実
食を通じて豊かな心を育むために	食を通じたコミュニケーションの確保	歯の健康についての啓発活動の推進	職場での健康診断等に基づく食生活改善の推進	地域における健康対策指導	健康増進効果のある農産物の開発と普及
	体験を通じた食の理解促進	食品と医薬品との相互作用に対する普及啓発	食品表示の適正化の推進	栄養成分表示店の指定等の推進	食の安全に関する知識の普及
	食文化の理解と継承	「おうちでごはんの日」(仮称)の設定と普及	給食を通じたコミュニケーションの促進	企業の社員に対する食育活動の促進	トレーサビリティシステムの導入促進
食を通じて環境に優しい暮らしを築くために	環境に配慮した食生活等の推進	飲食店や食品販売店等に対する衛生指導等	食品と医薬品との相互作用に対する普及啓発	家庭における料理や作物栽培体験の推進	学校等における食に関する体験等の充実
	地産地消の推進	給食における地場産物や郷土料理等の導入促進	社員食堂等における郷土料理等の提供促進	伝統料理等の継承	都市農村交流や農林漁業体験に関する情報提供等
	農林水産業や食品関連事業における環境への配慮	環境に配慮した食生活の普及推進	環境に配慮した体験活動の推進	学校や社員食堂等での食品廃棄物減少の推進	食に関する体験活動の充実
食育を広めるために	食育にかかる人材の育成	本県農林水産物の P R と利用促進	給食における地場産物の利用促進	社員食堂等での地場産物の利用促進	地産地消を実践する機運の醸成
	食育ネットワークの構築	農業生産における環境への配慮	農業における資源循環の推進	バイオマス食器利用の普及啓発	食品リサイクルの普及啓発
	食育の普及・啓発等	学校における食に関する指導体制の充実	栄養士・管理栄養士の研修と配置の推進	食に関する専門学科で学ぶ高校生等への指導	食育推進にあたるボランティア等の育成と活動の促進